



ケヤキ並木

第145号(令和6年度5月号)
令和6年5月30日 発行



〒183-0056 東京都府中市寿町1-10-2 TEL 042-362-2211 FAX 042-360-0642

● 校長あいさつ 「修学旅行から学校行事を考える」

校長 並川 直人

着任して2週間後となる、4月16日(火)から19日(金)までの3泊4日、3年生の北海道方面への修学旅行を引率しました。

ところで、「修学旅行」という言葉には独特な響きがありませんか。

農業高校での学校生活で友人たちと一緒に過ごすことの意義、普段と異なる生活環境で見聞を深める体験、集団生活や公衆マナーの在り方について望ましい体験を積むことを通し、多感な時代の人間形成に大切な役割を担っています。おそらく全員、修学旅行はこれが最後の機会になります。

違う視点から述べると、修学旅行は特別活動の中では「旅行・集団宿泊の行事」と言われます。

この集団というのがポイントで、学年をあげて行うというのは他の国ではなかなかありません。

修学旅行では特に「体験的な活動」を通しての実践が重視されています。生徒の皆さんは事前に計画を立て、現地でそれに基づいて行動し、事後にそれを振り返るといったプロセスの班別自主行動はまさに「主体的」な学びであり、今回の修学旅行において中心的な活動となりました。

北海道という本州とは異なる独自の自然環境、大自然の魅力にあふれた地域、歴史から学ぶこともあります。そして北海道ならではの専門学習や体験活動をはじめ、存分に自然や歴史、食を体感して欲しいと願っておりました。それが農業高校での学びともつながります。

北海道の大自然を通して、自然と環境の大切さや野生生物との関わりを考える機会にもなります。

北海道の主要産業は農業や漁業などの第一次産業です。「畑作」をはじめ「稲作」「酪農業」「林業」「漁業」などが盛ん。北の大地で食に関する幅広いことを学ぶことができます。

実際に訪問したえこりん村では循環型農業や持続可能な農業についての実践、商品開発とブランディングについて学ぶ機会がありました。

ウポポイ(民族共生象徴空間)はアイヌ文化の復興・創造等の拠点としてアイヌ文化の多彩を学び、社会の一員として多様性のある豊かな社会を築いていくことの大切さを学びとる機会となりました。

洞爺湖ビジターセンターの火山科学館は、噴火を繰り返してきた有珠山の火山活動を映像や解説、体感装置などで紹介しており、噴火のメカニズムや防災について考える機会となりました。

小樽では体験学習として、白磁キーホルダーの絵付け、モザイクキャンドル作り、伝統的な家紋の刷り込み、純銀の指輪作り、伝統の上生菓子作り、落款彫刻、洗い染体験、ステンドグラスのオーナメント、小さな小樽の石蔵作り、シラカバで作るフォトスタンド、金箔の箸作り、寿司体験に分かれて体験活動を行いました。

班別研修となった小樽、函館では、事前学習に基づき計画されたコースを自分たちの足で歩き、実際の街並みや多くの外国人の訪問を感じながら充実した時間を過ごすことができたようです。

私は修学旅行に限らず、3年間で実施する特別活動は学校行事であり、それぞれ実施するのが当該学年であるとの認識をもっております。あくまで3年間の特別活動の計画があり、それぞれの目的を明確にした上で充実を図ることが何より大切です。今後も全校や学年単位での活動を通して、協力や協働、よりより学校生活を築くための体験的な活動を重視していきたいと思っております。

● 修学旅行報告

生徒アンケートより

★1日目について自身の中で印象 ついていることは?

ウポポイ村でアイヌ民族のことについて知ったことと、えこりん村でカレーライスやウインナー、サラダなど美味しいものを食べたことです。

★2日目、小樽の体験学習および 小樽散策について印象に残っている ことは?

ロウソク作りをして自分の好きな色を使いオリジナルのロウソクを作れたこと、小樽で海鮮を食べたり、東京にないような場所などを見に行ったこと、白い恋人ファクトリーに行ってお土産を買ったり出来上がるまでの工程を見たりしたこと、夜ご飯で初のジンギスカンを食べたこと、普段食べてるお肉との味の違いや焼き方の違いを知れたことです。

★3日目について自身の中で印象に 残っていることは?

函館山に行き好きな映画の聖地巡礼をしたり、初めてのロープウェイに乗って山頂まで行ったこと、昭和新山のことを知ったり、活火山についてのことを詳しく教えてもらったこと、鮭のちゃんちゃん焼きを食べて想像してた味と違うと思ったり、地域によってお味噌の濃さが違うとわかったことです。

★4日目、函館の班別研修について 印象に残っていることは?

五稜郭タワーに行って限定のクマのぬいぐるみを買ったり、五稜郭を上から景色を見たり、前の日に見た函館山を見つけてみんなで話したりして思い出作りができました。桜も咲いていて風景写真を撮ったり、好きな映画の聖地巡礼ができました。

★修学旅行を終えての感想は?

自分の想像していたよりもバス移動がかなり長くその間寝てしまっていたため、北海道の景色をしっかりと見ることが出来なかったのが残念だなあと感じました。初の北海道旅行はかなり楽しく、いっぱい写真も撮れたり聖地巡礼もでき、自分の中でもとてもいい経験にもなったり、思い出にもなりました。

3年3組(食品科学科) Mさん



● 着任者あいさつ

4月1日より18名の先生が仲間入りしました。
5月号では農業・家庭の先生のあいさつを掲載します。

新規採用で着任いたしました、石井あかねと申します。心癒される緑があふれたこの学校、大好きです。素敵な環境で、皆さんと一緒に学ぶことにとてもワクワクしています。食べることが何より好きなので、食べ物のお話してくれると喜びます😊
どうぞよろしくお願いいたします

石井 あかね【新規採用・家庭】

ファッションについて、服飾科の皆さんの興味関心に応え、技術を伸ばすことができる教員でありたいと思っています。よろしくお願いいたします。

金沢 昭良【忍岡高校から・家庭】

はじめまして。町田市にある町田総合高校から赴任しました、食物科実習助手の菅井 深妃(すがい みき)と申します。いずれ母校である農高で働く時が来るのかな、と思っていたら案外早くその時が来ました。所属する科に関係なく、皆さん快く挨拶してくれるので嬉しいです。よろしくお願いいたします。

菅井 深妃【町田総合高校から・家庭(実)】

食物科の綱淵(つなぶち)ひかりと申します。着任して約2か月。生徒の皆さんの農業・家庭の専門高校で学びたい!という意欲的な姿に感動する日々です。皆さんの高校生活で、「思い出という名の宝物」ができるようにサポートしていきたいです。よろしくお願いいたします。

綱淵 ひかり【八丈高校から・家庭】

今年度より新規着任致しました、石原です。生徒の皆さんと自然豊かな府中の街と一緒に授業ができることをとても嬉しく思います。緑地計画科の授業が中心となりますが、部活動ではトレッキング部を、その他農業クラブを担当しておりますので機会がありましたらぜひお声がけ下さい!

石原 秀一【新規採用・農業】

都市園芸科に着任しました戸部です。長らく野菜を教えていました。本校でも1、2年生と野菜を通じた学習をします。3年生は「農業経済」、「課題研究」を担当しますが農業・環境関連の進路を考えている生徒には直結する科目になるので、社会に目を開いて、問題意識を持ち、自分の力で課題解決できる授業を行っていきます。

戸部 孝綱【園芸高校から・農業】

動物に囲まれた学校から来ました。動物のいない環境はいつ以来かなと思っています。緑地計画科で今までとは全く違う分野ですが、何かをつくることはとても楽しいと思っていますので、皆さんと一緒にいろいろなことをやっていけたらと思っています。よろしくお願いいたします。

内藤 知子【瑞穂農芸高校から・農業】

新規採用で着任いたしました、食品科学科、山元桜子と申します。私も農業高校出身で、農業高校は大好きです!皆さんと授業や日々の生活を通して、たくさんのかたちを一緒に経験し、学んでいきたいと思っています。授業の他にも、進路指導部、女子バスケットボール部、農業クラブ等を担当しておりますので、ぜひ声をかけてください!

山元 桜子【新規採用・農業】

青梅総合高校から参りました渡邊と申します。青梅は山々が近く広大な場所で好きでしたが、府中も緑が多く特に大好きな樹木であるケヤキ並木を通えることに嬉しく感じています。とても素直で授業に積極的な生徒の皆さんと実習している時が一番楽しいです。まだまだ慣れない事が多々ありますが宜しくお願い致します。

渡邊 幸【青梅総合高校から・農業(実)】

● 公式キャラクター『まゆ丸』

いろいろなところに登場している「まゆ丸」。商標登録プロジェクト進行中です!

まゆ丸プロフィール

愛称：まゆちゃん
身長：手のひらサイズ
体重：米俵一個分
年齢：100歳以上
誕生日：4月12日



● ホームページ・SNSのご紹介

農業高校はいろいろな方法で情報発信を行っています。生徒の学校生活等をどうぞご覧ください。



生徒会の生徒と協働して
インスタ始めました。